**第39回報農会シンポジウム**

**ハイブリッド型開催**

**『植物保護ハイビジョン―2024』のご案内**

**――「みどりの食料システム戦略」に関係する植物保護分野の重要課題――**

**趣　旨**：2021年に農林水産省が策定した「みどりの食料システム戦略」は，地球温暖化，農業の担い手の減少・高齢化，鳥獣害の被害拡大，さらにコロナ禍など，農業を取り巻く『負の変化』に抗して，広く食料産業・農林水産業の生産力向上と持続性の両立を長・中期的なイノベーションによって実現させようという遠大な計画です。この中には当然植物保護分野も組み込まれており，目的達成には発想の転換とイノベーションが必須です。

今回のシンポジウムでは，「みどりの食料システム戦略」に関係する植物保護分野での取り組みの中からカギとなる課題を選び，それぞれのエキスパートに話題提供いただくことになりました。講演内容は，第１課題と第２課題は地球温暖化に伴う病害虫の動向に関する話題で，第１課題は総論，第２課題は各論（カンキツグリーニング病の媒介昆虫ミカンキジラミを事例に）です。第３課題は農薬による環境負荷をいかに軽減できるか，線虫剤を例に現状から今後の展望までの解説です。第４課題は農業環境保全の基礎である生態系保全がいかにあるべきか，農生態学（アグロエコロジー）からの提言です。第５課題はイノベーティブな害虫防除法（振動の利用）やGAPに取り組む実践農家からの報告です。

５年ぶりに会場での開催（オンラインとのハイブリッド）となります。多くの皆様のご来場・ご参加を心からお待ちしてします。

**主　催**：公益財団法人　報農会

**協　賛**：一般社団法人日本応用動物昆虫学会，一般社団法人日本植物病理学会，日本農薬学会，

一般社団法人日本雑草学会

**日　時**：令和6年9月25日 (水)　10:50～15:30　（ハイブリッド型開催）

**場　所：**「北とぴあ」つつじホール（東京都北区王子1-11-1）　URL: https://www.hokutopia.jp

JR京浜東北線王子駅北口より徒歩2分、東京メトロ南北線王子駅5番出口直結

**＜プログラム＞**

**開　会**：10:50～10:55　挨　拶　　　　　　　　　　　　　　　　　　報農会理事長　田付貞洋

**講　演：**10:55～11:40　地球温暖化が病害虫発生に及ぼす影響

農研機構農業環境研究部門土壌環境管理研究領域　山村光司

11:40～12:25　地理情報システム(GIS)を活用した国内におけるミカンキジラミの定着可

能地域予測　　農研機構果樹茶業研究部門果樹生産研究領域　紺野祥平

12:25～13:15　休　憩

13:15～14:00　線虫剤を取り巻く状況（市場と開発動向について）

アグロ カネショウ株式会社　中村元太

14:00～14:45　Agroecology・アグロエコロジーそして農生態学：有害生物管理における

基礎的な話題から　　　　　　　愛媛大学大学院農学研究科　日鷹一雅

14:45～15:30　トマト生産現場での取り組み：GAP、振動による害虫防除

株式会社未来彩園　瀬尾　誠

**参加費**：3,000円（講演要旨集を含む。ただし，講演要旨集のみ購入の場合2,000円）

**申込み**：報農会ホームページに掲載しております『開催要領』をご覧の上，申込用紙に必要事項を記入して，メール又はFAXでお申し込みください。

なお，シンポジウム終了後同じ会場（同じURL）で，報農会主催第39回功績者表彰式を行います。（15:45～16:15 功績者表彰式、表彰式終了後祝賀会：参加費5,000円）

**連絡先**：公益財団法人報農会 事務局

TEL／FAX：03-5980-8773　　E-mail：khono511@car.ocn.ne.jp　　URL：https://honokai.org